

岩井歯科クリニックかわら版

No.5 2013.1.

✦ ご挨拶

寒中お見舞い申し上げます。連日厳しい寒さが続いております。今年はこのほか寒気が厳しく、風邪も流行っているようです。くれぐれもご自愛くださいませよう、お祈り申し上げます。

✦ 自然と共に・・・

お正月にNHKで『プロフェッショナル・仕事の流儀』という番組が放映されました。京都で450年に亘り継承してきた「^{らくちやわん}楽茶碗」の^{らくけ}楽家15代当主を、9ヶ月間取材したドキュメントでした。楽焼は桃山時代、楽家初代：長次郎によって創められた茶道用の焼物で、その作は千利休の「^{わび}侘び」の思想が色濃く反映されたものです。ただ無があるのみで非常にシンプルな形、それが却って奥深く、禅の世界観を具現化したものといえます。

比類なき数々の先人の作を前にして、現当主：吉左衛門の『伝統的な技法や「^{たたず}佇まい」を常に大切にしながらも、革新的な自分自身のオリジナルな作風を「楽茶碗」に融合させていきたい』という心の葛藤を感じるものでした。

「自然と同化したものを作りたい。しかし、自分の意思が作品に入り込んでしまうと、自然から離れてしまう・・・。」創作の中から発した、吉左衛門の言葉です。

『自然と同化したものを作る』

私達人間は自然界から発生しており、最後にまた自然界に還る存在ですから、本来自然を無視して幸せな生活を送ることは無理なはず。科学の進歩と共に現代社会は便利になり、そして自然と離れた生活をすればするほど、体調不良や心の悩み・ストレスが増してくるのは当然のように思います。かく言う私も出張で年に何回か東京に行きますが、3日滞在するのが限界です。生まれた時から木や田畑を見て生活しているからでしょうか・・・。

医療においても同様で、最近の医療は何かと「科学的根拠に基づいた治療」というのが、金看板のように前面に出てきます。「科学的に安全だから、この治療法は正しい」と医療者は言いたいのでしょうか、その「お墨付き」を下すのも専門分野の一部の学識者の判断であり、疑問を感じるどころです。その例として、様々な「薬害訴訟」が挙げられます。また、原発事故も「想定外のことが生じた」と報じられていましたが、専門の学識者でさえ、よく解っていない事態に収束の目途が立つのか、憂えているのは私だけではないはず。です。

現在の歯科医療は、どの医院も「インプラント治療」に目が向いています。「インプラント治療は、科学的根拠に基づいた治療です」と、ドクターから説明を受けた場合、本当に安全で安心できる治療なのか、もう一度ご自分の心に問いかけてみて下さい。

私は自然の恵みに感謝し、「自然に沿った生き方」・「自然学に基づいた治療」・「外科処置を必要としない、入れ歯作り」に、これからもこだわっていきたくと思います。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



✦ お知らせ

現在、ホームページをリニューアル中です。早ければ2月末に、新しいホームページが立ち上がる予定です。(ホームページのアドレスは変更ありません。) 今後は、メールでのお問い合わせも可能になりますので、少しでも不都合な点やお困りのことなどございましたら、お気軽にご相談下さい。

(このニュースレターに関する皆様からのご意見・ご感想などをお寄せいただければ幸いです。)